

特集

病院経営から考える医薬分業

日本の医薬分業は、37のモデル国立病院に対して完全分業（院外処方箋受取率 70%以上）を指示した 1997 年以降急速に進み、医療機関での院外処方箋受取率は現在 75%以上となっている。2000 年に約 46,000 であった保険薬局は現在 60,000 店を超え、2000 年に 3 兆円程度であった調剤医療費は現在 8 兆円を超えている。

日本の医薬分業についてはその功罪についてさまざまな議論がされている。本格的な医薬分業が進んでから 25 年が経過した。あらためて医薬分業が病院の在り方にどのような影響を与えているのか、また医療 DX が本格化し、電子処方箋の時代を迎えて、これからの医薬分業はどのような未来を迎えるのか、徹底的に特集する。[企画・今村 英仁]

●医薬分業のあるべき姿

- 0652 医薬分業の変遷、その先にある薬剤師の将来像 太田 美紀
- 0658 医薬分業の在り方について 主計局次長と主査とのある日の議論 中村 英正・樫野 壮一郎
- 0662 統計データから見た医薬分業の問題点 坂巻 弘之
- 0668 医薬分業の背景と現況についての考察 佐藤 敏信
- 0676 病院経営の視点から考える医薬分業の現状と課題への対応 加納 繁照
- 0681 医療 DX の医薬分業に与えるインパクト 長島 公之

●薬剤師から見た医薬分業のあるべき姿

- 0686 社会的・歴史的背景を踏まえた医薬分業の望ましい姿
日本薬剤師会 山本 信夫
- 0689 医薬分業と今後求められる地域医療の連携に向けて
日本病院薬剤師会 武田 泰生

●保険薬局の役割と病院との連携

- 0692 スギ薬局グループの取り組む地域社会への貢献
ポリファーマシー対策・病院との相互研修・訪問調剤など 杉浦 伸哉
- 0695 薬局機能分化の現状と専門医療機関連携薬局の役割 月岡 良太

●事例

- 0699 日本海ヘルスケアネットの地域フォーミュラリ 佐藤 義朗
- 0703 病院敷地内薬局が地域連携薬局・がん専門医療機関連携薬局の
認定を受ける意義 木村 雅彦
- 0707 産業医科大学病院と保険薬局との連携の現状 植木 哲也
- 0711 小児科を中心に院内処方に対応し続ける病院として 渡辺 美保子

対談

0637

狭間 研至 × 今村 英仁

医薬協業の未来へ



特別記事

- 0716 日本ホスピタルアライアンス(NHA)による「働き方改革調査」実施の
目的と成果 一般社団法人 日本ホスピタルアライアンス 経営層委員会／同 病院運営管理委員会

連載

- 0644 **アーキテクチャー × マネジメント [103]**
医療福祉建築賞 2022 岡本 和彦
- 0721 **医療機関で起きる法的トラブルへの対処法 [28]**
暴力・暴言を伴わない患者の迷惑行為に対する診療拒否 小林 京子・黒瀧 海詩
- 0726 **ケースレポート 地域医療構想と病院 [54]**
地方都市における地域包括ケアシステムのモデル事例
一般社団法人慈恵会（青森市）
松田 晋哉
- 0733 **地域と医療の未来を創る中小病院のあり方 [5]**
大病院と在宅の間をつなぎ、積極的にまちを作る
人口減少・超高齢時代の中小病院の役割
辻 哲夫／聞き手：大石 佳能子

BOOK Review

- 0715 『トップジャーナルへの掲載を叶える ケースレポート執筆法』〔評者〕廣澤 孝信
- 0737 BACK NUMBER
- 0738 投稿規定
- 0740 次号予告